

## 財務諸表分析検定試験 補充問題 [第2問]

問題1 次の文章のうち、正しい場合には○、誤っている場合には×を正誤欄に記入し、誤っている場合には、その理由を記入しなさい。

1. 財務分析の方法には、趨勢分析と比較分析があるが、趨勢分析は、他の企業と比較する方法である。
2. 棚卸資産回転率は、損益計算書の数値のみを利用する分析指標である。
3. 純資産負債比率は、貸借対照表の数値のみを利用する分析指標である。
4. キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローの表示方法には、直接法と間接法の2つがあり、選択適用が認められている。
5. 投資有価証券の売却収入は、キャッシュ・フロー計算書の財務活動によるキャッシュ・フローの部に計上される。
6. 株主資本等変動計算書には、固定負債の変動と残高が表示される。
7. 比率分析の長所として、企業規模の違いの影響を受けない、企業間比較を可能にすることがあげられる。

問題2 次の〈資料〉のA社の要約連結貸借対照表から、同社の安全性の推移を分析した下の文章の□1から□10のなかに入れるのに適当な語句や数値を次ページの〔語群〕のなかから選び、その記号を解答欄に記入しなさい。なお、同じ記号（語句）を2回以上用いてもよい。

〈資料〉

A社の要約連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前 期	当 期		前 期	当 期
資産の部			負債の部		
現金及び預金	5,500	25,000	支払手形及び買掛金	22,070	20,000
受取手形及び売掛金	32,000	27,000	短期借入金	41,600	21,100
製品及び仕掛品等	50,000	20,000	長期借入金	18,000	20,000
その他の流動資産※	4,000	170	純資産の部		
有形固定資産	29,500	31,000	資本金	30,000	30,000
無形固定資産	420	320	資本剰余金	4,000	12,000
投資その他の資産	250	210	利益剰余金	6,000	600
資産合計	121,670	103,700	負債純資産合計	121,670	103,700

※その他の流動資産は、当座資産、棚卸資産以外の流動資産。

〈資料〉より、A社の当座比率は、前期が約 $\boxed{1}$ %、当期が約 $\boxed{2}$ %となる。また、固定長期適合率は、前期が約 $\boxed{3}$ %、当期が約 $\boxed{4}$ %となる。純資産負債比率は、前期が約 $\boxed{5}$ %、当期が約 $\boxed{6}$ %となる。

A社の当座比率は、前期に比べて上昇したので、短期的支払能力は $\boxed{7}$ した。固定長期適合率は、ほぼ横ばいで推移しているものの、純資産負債比率は下落したので、長期的な安全性は $\boxed{8}$ したといえる。したがって、同社の財務比率は前期に比べて全般的に $\boxed{9}$ 傾向にある。ただし、資産総額が前期に比べて減少しているので、 $\boxed{10}$ が縮小している点に注意が必要である。

〔語群〕

ア. 204.2 イ. 143.4 ウ. 126.5 エ. 112.0 オ. 58.9 カ. 52.0 キ. 50.4 ク. 改善  
ケ. 悪化 コ. 企業規模 サ. 取引規模

問題3 次の問1，問2に答えなさい。

問1 次の〈資料〉に基づき、B社の収益性に関する以下の分析指標を前事業年度、当事業年度の2期分について求めなさい。

- ① 総資産当期純利益率
- ② 売上高売上総利益率
- ③ 流動比率
- ④ 総資産負債比率

(注意事項)

1. ①から④の数値は算出結果のみを解答すること。(計算式は不要)
2. 答えは、小数点第2位を四捨五入すること。

問2 問1の各数値を踏まえて、解答欄に示した総合的な判断について、適切な符合を○で囲むとともに、判断の理由を次のヒントにもとづいて簡単に答えなさい。

$\boxed{\text{ヒント1}}$  収益性についての総資産当期純利益率、売上高売上総利益率の期間比較。

$\boxed{\text{ヒント2}}$  安全性についての流動比率、総資産負債比率の期間比較。

(資料)

## B社の要約連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前年度	当年度		前年度	当年度
資産の部			負債の部		
流動資産			流動負債		
現金及び預金	29,500	21,600	支払手形及び買掛金	28,320	22,300
受取手形及び売掛金	27,300	29,400	短期借入金	29,000	—
製品及び仕掛品等	60,700	52,800	未払法人税等	1,890	19,300
その他	36,380	15,200	その他	15,420	17,200
貸倒引当金	△1,680	△1,400	流動負債合計	74,630	58,800
流動資産合計	152,200	117,600	固定負債		
固定資産			社債	145,400	93,000
有形固定資産	94,600	79,100	長期借入金	74,780	53,400
無形固定資産	92,100	94,170	退職給付に係る負債	3,040	4,600
投資その他の資産			預り保証金	4,410	4,340
投資有価証券	31,900	17,000	その他	1,720	1,060
繰延税金資産	1,990	2,020	固定負債合計	229,350	156,400
その他	3,730	4,200	負債合計	303,980	215,200
投資その他の資産合計	37,620	23,220	純資産の部		
固定資産合計	224,320	196,490	株主資本		
			資本金	52,220	63,400
			資本剰余金	37,320	61,460
			利益剰余金	△38,410	△35,000
			自己株式	△5	△140
			株主資本合計	51,125	89,720
			その他の包括利益累計額		
			その他有価証券評価差額金	△25	△50
			その他の包括利益累計額合計	△25	△50
			非支配株主持分	21,440	9,220
			純資産合計	72,540	98,890
資産合計	376,520	314,090	負債及び純資産合計	376,520	314,090

B社の要約連結損益計算書

(単位：百万円)

	前事業年度	当事業年度
売上高	216,000	259,200
売上原価	151,200	171,440
売上総利益	64,800	87,760
販売費及び一般管理費	52,800	68,360
営業利益	12,000	19,400
営業外収益		
受取利息・配当金	550	100
その他	50	70
営業外収益合計	600	170
営業外費用		
支払利息	600	1,800
その他	480	100
営業外費用合計	1,080	1,900
経常利益	11,520	17,670
特別利益	12	24
特別損失	240	328
税金等調整前当期純利益	11,292	17,366
法人税、住民税及び事業税	3,710	110
法人税等調整額	△80	20
法人税等合計	3,630	130
当期純利益	7,662	17,236
非支配株主に帰属する当期純利益	24	30
親会社株主に帰属する当期純利益	7,638	17,206

その他の情報

(単位：百万円)

	前々事業年度
期末総資産	380,000

問題4 次の〈資料〉により、次の解答欄のなかの文の〈1〉から〈8〉に適切な数値または語句を記入しなさい。なお、株主資本等変動計算書の〈?〉は〈資料〉から計算できるので、記入していない。

〈資料〉

貸借対照表（当期首）		貸借対照表（当期末）	
○1年4月1日（単位：千円）		○2年3月31日（単位：千円）	
純資産の部		純資産の部	
株主資本		株主資本	
資本金	10,000	資本金	13,000
資本剰余金	1,400	資本剰余金	2,400
利益剰余金	5,000	利益剰余金	5,100
株主資本合計	16,400	株主資本合計	20,500
評価・換算差額等		評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	10	その他有価証券評価差額金	30
⋮	⋮	⋮	⋮

株主資本等変動計算書  
自○1年4月1日至○2年3月31日（単位：千円）

	株主資本				評価・換算 差額等	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本 合計		
当期首残高	〈1〉	〈?〉	〈?〉	〈?〉	10	16,410
当期変動額						
新株の発行	3,000	1,000		4,000		4,000
剰余金の配当			△ 100	△ 100		△ 100
当期純利益			〈5〉	200		200
株主資本以外の 項目の当期変動 額（純額）					〈7〉	〈7〉
当期変動額合計	3,000	1,000	〈4〉	〈6〉	〈7〉	〈8〉
当期末残高	〈2〉	〈?〉	〈?〉	20,500	30	20,530

株主資本等変動計算書の資本金の前期末残高は〈1〉千円、当期末残高は〈2〉千円である。資本金及び資本剰余金の変動は、〈3〉の発行によるものである。当期の利益剰余金の変動額は〈4〉千円であり、その原因は当期純利益〈5〉千円と配当金の支払いによる100千円の減少にある。この結果、当期の株主資本は〈6〉千円増えた。これにその他有価証券評価差額金の増加分〈7〉千円を加えた金額〈8〉千円が、当期の純資産変動額となる。

[第2問]

問題1

	正 誤	理 由
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		

問題2

1		2		3		4		5	
6		7		8		9		10	

問題3

問1

	分析指標	前事業年度	当事業年度
①	総資産当期純利益率		
②	売上高売上総利益率		
③	流動比率		
④	総資産負債比率		

問2

総合的に判断すると、当期は前期に比べて、  
 ( ア. 良くなった。 イ. 変わらない。 ウ. 悪くなった。 )

理 由

問題4

1		2		3		4	
5		6		7		8	